

2019年度(平成31年～令和元年度)活動報告 2020年度(令和2年度)活動方針/予算(案)

総会第3号議案

2019年度 活動報告

1. 同窓会組織の活性化・充実

- ①役員会をほぼ月1回開催しました。
- ②「金砂健児の集い」(東京秋工会総会・懇親会)を開催しました。けやき会・秋高連・ふるさと応援団との交流、同窓会本部、東海支部、関西支部、静岡支部の総会に出席し、情報交換を行いました。
- ③職場会、同期会、同好会、ミニ同級会などを目的として「金砂健児の集い」に参加するように呼びかけました。
- ④総会参加目標100名以上、年会費納入会員数300名確保を実現のため、会員の掘り起こしに努力しました。
- ⑤関東地区就職者・進学者に「金砂健児の集い」への参加・勧誘を行いました。
- ⑥「活性化委員会」を立ち上げ、地区別に同窓会を開催しました。

2. 広報活動の充実

- ①KANASA(同窓会報)を広く会員に読んで頂くために、写真掲載を増やしてビジュアル化に努めました。
- ②東京秋工会ホームページに会員の皆さんより情報提供をして頂き、内容の充実と同窓会員へのサービスを向上させました。

3. 会員相互の親睦活動の推進

- ①ハイキング同好会を始め、各同好会の活動が活発化しました。
- ②史跡散策同好会やパソコン教室同好会などの新しい同好会を立ち上げました。

4. 会員が携わる業務上の情報収集

昭和50年卒以降の若い会員の帰属意識を高め、世代格差を埋める方法がないものか研究・検討しました。

5. 母校の発展に寄与

- 運動部、文化部の積極的な支援活動として、下記事項を実施しました。
- ①全国高等学校駅伝競走大会・選抜ラグビー大会(熊谷)などの応援をしました。
 - ②12月以降新型コロナウイルス禍で中止になった大会があり、応援できず残念でした。

6. 秋田ふるさと応援団(他校の友情応援)・秋高連やけやき会などの他故郷組織に参加し協力しました。

2020年度活動方針(案)

1. 同窓会組織の活性化・充実について

- ①役を定期開催し意志の疎通を図り、幅広い年齢層に受け入れられる運営体制を目指します。
- ②活性化委員会の活動を更に発展させて、首都圏在住の参加者を増やすことに努めます。
- ③年会費納入会員数300名を目標に努力します。

2. 広報活動の充実について

- ①会報「KANASA」および「東京秋工会ホームページ」の内容の更なる充実を図り、同窓会員へのサービス向上に努めます。
- ②会員の融和、親睦を深めた、ミニ同級会、同期会が開催されるように、ホームページを積極的に活用します。

3. 会員相互の親睦・業務上の情報交換の推進について

- ①同好会および各種イベントを充実させ、同窓生相互の「絆」を深め生涯学習や娯楽の場を提供します。
- ②会員が携わる業務の発展に向けて、ホームページなどを活用し、異業種交流、連携と現役、退職者のスキル活用など会員間の互恵関係を図ります。

4. 母校発展の寄与について

- ①本部・各支部の総会に積極的に参加して連携と「絆」を強化します。
- ②各種運動部・文化部・全国大会出場チームや選手を激励するとともに、会員に対してホームページ等を活用して応援を要請するなど積極的に支援活動を行います。

5. 財政基盤の確立について

- ①年会費収入増加・納入率のアップを目指します。
- ②広告提供者の増加を目指します。
- ③有力者・企業からの寄附及び献金授受に努めます。

6. 他校との交流・親睦を図ります。

7. 秋田ふるさと応援団(他校の友情応援)・秋高連やけやき会などの他故郷組織に協力していきます。

2020年度 東京秋工会予算(案)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

収入の部			支出の部		
項目	金額(円)	備考	項目	金額(円)	備考
繰越金	865,922	2019年度より	総会費	0	注)
年会費	600,000	3,000円200名	総会準備費	300,000	書面総会 他
総会費	0		会報製作費	600,000	
総会御祝儀	0	本部同窓会 他	渉外費	80,000	
KANASA広告料	644,000		支援費	20,000	
雑収入	78		広告費	54,500	
			役員会費	40,000	
			交通費	0	
			消耗品費	35,000	
			諸経費	100,000	
			活性化経費	70,000	
			繰越金	810,500	2021年度へ
収入の部合計	2,110,000		支出の部合計	2,110,000	

注) 例年総会費を支出計上していましたが、今年はコロナ禍のため総会時の懇親会(金砂健児の集い)中止に伴い「ゼロ」にしました。